

令和元年 11 月 13 日

令和 3 年度学士課程入試の概要について

高知工科大学入試センター

令和元年 11 月 1 日に文部科学大臣より「大学入試英語成績提供システム」の導入の延期が発表されました。これを受け、すでに決定しておりました令和 3 年度学士課程入試の概要について、次のとおり変更いたします。

(青字は文部科学大臣発表を受けての変更内容です。赤字は大臣発表前から公開していた前年度入試からの変更点です。変更箇所をわかりやすくするため、今回の削除箇所についても見え消しで掲載しております。)

1 入試区分名称の変更 (文科大臣発表前から変更なし)

AO入試 → 総合型選抜

一般入試 → 一般選抜

推薦入試 → 学校推薦型選抜

推薦入試 → 学校推薦 (一般区分)

特別推薦入試 → 学校推薦 (スポーツ区分)

推薦特待生入試 → 学校推薦 (特待生区分)

推薦入試(センターあり) → 学校推薦 (共通テスト区分)

2 入試日程 (予定) (文科大臣発表前から変更なし)

(1) 一般選抜・学校推薦型選抜

入試区分		出願期間	個別学力検査等	合格発表日	入学手続期間
一般選抜	前期日程	令和3年1月25日(月)~令和3年2月3日(水)	令和3年2月25日(木)	令和3年3月4日(木)	令和3年3月5日(金)~令和3年3月15日(月)
	後期日程		令和3年3月12日(金)	令和3年3月20日(土)	令和3年3月21日(日)~令和3年3月27日(土)
学校推薦型選抜	学校推薦(一般区分)	令和2年11月3日(火)~令和2年11月9日(月)	令和2年11月22日(日)	令和2年12月1日(火)	令和2年12月2日(水)~令和2年12月9日(水)
	学校推薦(スポーツ区分)				
	学校推薦(特待生区分)	なし	令和3年2月16日(火)	令和3年2月17日(水)~令和3年2月22日(月)	
	学校推薦(共通テスト区分)				

※すべての選抜区分において、出願および入学手続期間は締切日17:00必着。

※合格発表の時刻は、原則午前10時とする。ただし、不足の事態が発生した場合はこの限りでない。

(2) 総合型選抜

システム工学群・情報学群

学群・募集区分		出願期間	選考	合格発表日	入学手続期間
システム工学群		令和2年9月7日(月)			令和2年11月3日(火)
情報学群	A区分	~	令和2年10月10日(土)・11日(日)の両日 ※1	令和2年11月2日(月)	~
	B区分	令和2年9月14日(月)			令和2年11月10日(火)

※1：志願者数によっては1日のみで実施する場合がある。その場合は志願者全員に通知する。選考日の翌々週の土日（10月第4）を予備日とする。

経済・マネジメント学群

学群・募集区分		出願期間	第1次選考	第1次選考結果通知	第2次選考 学力検査等	合格発表日	入学手続期間
経済・マネジメント学群	数学区分	令和2年9月7日(月)			令和2年10月10日(土) ※1	令和2年11月2日(月)	令和2年11月3日(火)
	英語区分	~					~
	スポーツ区分	令和2年9月14日(月)	9月中旬	令和2年9月29日(火)	令和2年10月10日(土)・11日(日)の両日 ※1		令和2年11月10日(火)

※1：第2次選考の詳細については、第1次選考結果とともに対象者に通知する。選考日の翌々週の土日（10月第4）を予備日とする。

3 募集人員（文科大臣発表前から変更なし）

学群			システム工学群	環境理工学群	情報学群	経済・マネジメント学群
入学定員			170	90	100	160
募集人員	一般選抜	前期日程 A方式	80	50	40	40
		前期日程 B方式	20		10	20
		前期日程 C方式				15
		後期日程	20	15	10	15
		社会人特別選抜	若干名	若干名	若干名	若干名
		計	120	65	60	90
	学校推薦型選抜	学校推薦(一般区分)	10(10)	15(5)	若干名	50(30)
		学校推薦(スポーツ区分)				若干名
		学校推薦(特待生区分)	若干名	若干名	若干名	若干名
		学校推薦(共通テスト区分)		10(5)		
	計	10(10)	25(10)	若干名	50(30)	
	総合型選抜	総合型選抜	40(20)		40(25)	20(10)

※（ ）内は高知県内高等学校枠、内数

※ 合否は志望学群ごとに判定します。

4 総合型選抜、学校推薦型選抜の主な変更点

(1) システム工学群

令和2年度入試から変更なし

(2) 環境理工学群

令和2年度入試から変更なし

(3) 情報学群

令和2年度入試まで実施する推薦入試（若干名）について、廃止する。

(4) 経済・マネジメント学群

●カテゴリー変更にもなう県内枠の再整理

令和2年度入試まで、経済・マネジメント学群の特別選抜（AO・推薦）において、全体70名の募集のうち40名を県内枠としている。令和3年度入試からは特別選抜という枠はなくなり、総合型選抜と学校推薦型選抜という2つのカテゴリーとなる。このことから次のとおり県内枠を整理しなおすこととする。

旧：特別選抜（AO・推薦）：70（40）名

↓

新：総合型選抜：20（10）名・学校推薦型選抜：50（30）名

●学校推薦（一般区分）・（スポーツ区分）

面接試験に口頭試問を含む。周知内容は以下のとおり。

学校推薦書・志望理由書・調査書を資料とし、複数の面接担当者による個別面接（30分程度）を行う。ただし、出願者が多い場合、集団面接に変更することがある。
なお、**基礎知識を問う口頭試問（社会の話題を扱った文書・グラフ等を提示し、それを踏まえて自由に意見を述べる）を実施し、議論を進めます。**

●総合型選抜

数学区分、英語区分、スポーツ区分ともに令和2年度入試から変更なし。英語区分については、令和元年10月31日まで公表していた民間の英語検定試験を利用した入試制度の実施を延期し、令和2年度入試と同様の形態・出題範囲で実施する。

~~総合型選抜の英語区分について、選抜方法等を次のとおり変更する。数学区分とスポーツ区分は平成32年度までと同様の内容で実施する。~~

~~選抜方法：~~

~~➤平成32年度入試までは、第2次選考において、英語の4技能を評価するために本学独自の英語能力検査を実施していた。平成33年度入試からは、共通テスト~~

~~（英語）に民間団体が実施する検定試験が導入されることから、総合型選抜においても、これを利用することで、英語の4技能を評価することが可能となるため、本学独自の英語能力検査は課さない。~~

➤ ~~これまで日本語のみで実施していた面接試験について、英語の質疑応答を含む面接試験に変更し、さらに正確な評価を可能とする。また、面接試験時間を10分延長し、40分程度とする。~~

➤ ~~面接・書類（民間団体が実施する検定試験の結果を含む）の配点を200点とする。~~

旧：第1次選考合格者を対象とし、英語能力検査、面接（30分程度）、提出書類の総合判定

英語能力検査（100点）、面接・書類（100点）

↓

新：~~第1次選考合格者を対象とし、面接（40分程度、英語の質疑応答を含む）、提出書類の総合判定~~

~~面接・書類（民間団体が実施する検定試験の結果を含む）（200点）~~

提出書類：

旧：調査書、志望理由書（英語及び日本語：各A4 1枚）

↓

新：調査書、志望理由書（英語及び日本語：各A4 1枚）、

~~民間団体が実施する英語検定試験の成績等証明書（※1・※2）~~

~~※1 民間団体が実施する英語検定試験の成績証明書は、平成30年4月以降に成績を収めたもので、いずれもスコア等が記載された原本（公式）の提出を要する。~~

~~※2 民間団体が実施する英語検定試験については、大学入試英語成績提供システムへの参加が認められたものに限る。~~

5 一般選抜

試験科目、配点等について、令和2年度入試から大きな変更はない。

(1) 出願資格

次の①～③のいずれかに該当し、かつ、志望学群が定める【令和3年度大学入学共通テストの利用教科・科目】【英語検定試験】を受験した者。~~ただし、外国語については、大学入学共通テストまたは英語検定試験のいずれか、もしくはその両方を受験した者。~~

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または令和3年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または令和3年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く）の規

定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、または令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) 大学入学共通テストの評価の方針

●国語

共通テストにおけるマーク式部分と記述式部分の両方を評価する。

●数学

共通テストにおけるマーク式部分と記述式部分の両方を評価する。

●~~外国語（英語）~~

~~民間団体が実施する検定試験と共通テストの両方を評価対象とする。~~

~~(2) 民間団体が実施する英語検定試験の評価の方針~~

~~●民間団体が実施する検定試験と共通テストの両方を評価対象とする。~~

~~●大学入試英語成績提供システムに参加認定されており、大学入試センターから本学に直接成績提供されるものについて、すべての検定試験を評価対象とする。~~

(3) 評価方法と配点

【国語】（現代文の一部で記述式を導入）

配点：これまでどおり200点とし、内訳については、マーク式部分を160点、記述式部分を40点とする。（前期C方式は100点とし、内訳については、マーク式部分を80点、記述式部分を20点とする。）

換算：国語の成績について、大学入試センターから、マーク式部分は点数で、記述式部分は段階評価で提供される。この点数と段階評価をそれぞれ160点満点、40点満点に換算し、合計200点満点（前期C方式は、マーク式部分を80点満点、記述式部分を20点満点とし、合計100点満点）としたものを評価する。記述式部分の段階評価の換算方法等については、各年度の学生募集要項に掲載し、受験生に事前に公開する。

【数学】（数学Ⅰ・数学Aの一部で記述式を導入）

配点：これまでどおり前期A方式は100点、前期B方式は200点、前期C方式は100点もしくは400点とする。

換算：数学の成績について、大学入試センターからこれまでどおり、記述式部分を含め点数で提供される。この点数を前期A方式は100点満点、前期B方式は200点満点、前期C方式は100点満点もしくは400点満点としたものを評価する。

※ 国語、数学の記述式部分等について、今後、文部科学省から新テスト制度の変更の発表があった場合は、その都度、ホームページにて本学の対応方針を発表いたします。